

東北地方の火山活動解説資料（平成 16 年の活動）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

東北地方の活火山



- ：噴火した火山
- ：観測データに変化があった火山
- ◇：解説を記載した火山
- ：その他の火山

岩手山

火山活動は穏やかに経過しました。

黒倉山山頂の噴気活動は、次第に低下傾向が見え始めてきています。

6月に行った現地観測では、1999年頃から地熱によると考えられる笹枯れが西岩手山の黒倉山付近でありましたが、植生に回復が見られるようになりました。また、12月に自衛隊ヘリの協力による機上観測でも、黒倉山山頂の西に伸びている地熱地帯の裸地で、地温の低下傾向がみられます。

秋田駒ヶ岳

火山活動に変化はなく、穏やかに経過しました。

吾妻山

1月をピークに増加していた火山性地震の回数は、消長を繰り返しながら減少し、9月以降は穏やかな状態が続いています。

振幅の小さな火山性微動が時折発生していますが、火山性微動の前後で火山性地震の増加、噴気の異常、地殻変動の変化などは見られませんでした。

大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に大きな変化は見られませんでした。

安達太良山

火山活動は穏やかに経過しました。

監視カメラによる沼ノ平火口付近の噴気は、1月以降観測されず、低調な状態が続いています。

磐梯山

9月上旬に一時火山性地震が増加しましたが、火山活動は穏やかに経過しました。

山体北側火口壁の噴気は、一時150mの高さを観測しましたが、大きな変化はみられませんでした。